

説教題：神に栄光を帰すべしー迷信とへつらいを退けてー 聖書箇所：使徒の働き 12：18～25

序：この聖書箇所の位置

世界宣教開始(13章)を前にし、教会がとるべき信仰姿勢(土台) - 神に栄光を帰すーを語る。

1：ヘロデ王(アグリッパ)の教会迫害 12：1～5)とカイザリヤでの突然の死 12：23)

神に栄光を帰さなかったために『虫にかまれ』惨めに、ぶざまに死んだ。

著者ルカは、この出来事を、教会の世界宣教開始(13：2～4)の前に記した。

2：神に栄光を帰す歩み、その実感

A 栄光を帰すべき、主なる神を指し示す歩み

使徒 10：25, 26 ペテロとコルネリオ 使徒 14：11～15 パウロとバルナバ

B 罪を明らかにし、それを言い表す(告白)歩み

ヨシュア記 7：19

C 神のものを神にお返しする歩み (10分の1の捧げもの・聖なる習慣)

ルカ 20：25 創世記 14：18.～ 創世記 28：16～

結び：『主のみことばは、ますます盛んになり、広まって行った。』使徒 12：24

以上